

トリアルS13.5バージョン シルビア現る!



今年は
S13.5で
決まりやね!

**ポッキー牧原の大発見!
S13に、めわんとS14のタービン
&足まわりがボルトオン**

**'94年流用チューン・オフ・サ・イヤーは
これで決まり!?**

目下、史上最強のドリフトマシン。ポストハチロクとしても人気ナンバー1のS13 (PS13なども含めた総称で) シルビアだが、ニューシルビアのS14が登場し、意気消沈してしまうかと思えた。ところがフタを開けてみると、ボディサイズが大きくなってしまったのに、エンジンは2とそのまま。車重はたかが30kgアップくらいなのに、なんとなく取り回しが悪い。つまりか、峠マシンと言うよりは高速ツアラー。ハチロクよりよりはスカGっぽくなってしまったのだ。



**S14用
タービンが
ぴったり
フィット!**

ETなのに……、おんなじマクフアーソンストラット+マルチリンクなのに……。
S13もS14も基本的には「おんなじ」。おーっと、もし「おんなじ」だったら、まるでギヤラリーコーナーでケツを流すかのごとく、とは全然意味が違うが、用途を流すつまり流用することができるとも!? なのである。



ここがポイント

フロントブレーキ部。ローターは変わらないものの、厚みは10mm増やした。熱容量が上がり、耐フェード性がアップ。



ここがポイント

EXタービンの下に置いたのがS13タービンのジュンレツサーの大きさがT25改(A/R:0.88)。装着されているS14タービンのジュンレツサーはT04B(A/R:0.88)。このジュンレツサー大径化でパワーを稼ぐのだ。



S14タービンを下ツキングしてS13のSCORCHEY・新化RCWチエーター・ジュンレツサー・0.88/0.88にアップ。実測2500ps・G-R用ホンプとアベックスの4408インジェクター、オリジナルROMチューンで燃料を確保する。白いパイプはオリジナルキタタマ。